

令和3年度後期選定 後代検定種雄牛

令和3年度後期に後代検定対象として(一社)家畜改良事業団に選定された
十勝牧場産後代検定種雄牛を紹介します。



きよかねゆき

清金幸

登記番号: 2020子北黒1397359177

生年月日: R2.8.15

個体識別番号: 1397359177

美津金幸

美津照重

美津照

ももか

平茂勝

きよえみり

美津百合

百合茂

まきひら

平糸勝

(一社)家畜改良事業団 令和4年4月に現場後代検定の調整交配を開始

始祖牛名号	茂金波	栄光	第6藤良	第38の1岩田	城崎	奥城土井
※遺伝子保有確率	7.377%	12.084%	1.250%	1.023%	0.530%	0.393%

※特定の系統の始祖牛の遺伝子を保有する確率

★兄弟等の枝肉成績

(格付, BMSNo., ロース枝重, 父牛, 性別)

異父兄弟: A5, 9, 60, 560, 福隆桜(現検), 去勢

直接検定成績

検定期間 R3.4.8 ~ R3.7.29

検定結果	DG					365日齢補正体重	TDN余剰資料摂取量	粗飼料摂取率	終了時得点
	1.40kg/日					487.8kg	83kg	57%	84.8
終了時	美点	体積、均称、後軀							
	欠点	過大、肩端、骨緊り、毛質							

母「きよえみり」は、父に「美津百合」、母の父に「平糸勝」をもち、「福隆桜」を交配した現場後代検定息牛の枝肉成績はA-5、枝肉重量560kg、ロース芯面積60cm²、BMSNo.9を示したことから高い産肉能力が期待できる、気高系の繁殖雌牛です。この「きよえみり」に「美津照重」の後継として活躍が期待され、生産現場において優秀な枝肉成績が判明しつつある「美津金幸」を交配し、生産したのが「清金幸」です。このような血統的背景をもつ「清金幸」は、直接検定中の1日当たりの平均増体量が1.40kg/日と良好な増体を示しました。また、直接検定終了時の審査得点は84.8点と高得点であり、なかでも体積や均称、後軀に優れた体型をしています。これらのことから産肉能力の改良のみならず繁殖雌牛の改良への貢献、栄光号の遺伝子保有確率が12.1%であることから、「美津金幸」の息牛として期待できる候補種雄牛です。

令和3年度後期選定 後代検定種雄牛

令和3年度後期に後代検定対象としてアニマルジェネティックスジャパン(株)に選定された十勝牧場産後代検定種雄牛を紹介します。



みつただしげ

美津忠重

登録番号: 2020子北黒1397359672

生年月日: R2.9.4

個体識別番号: 1397359672

美津照重

美津照

美津福

いつみ

美津福

いつみさざなみ

勝忠平

平茂勝

いつみ5

安茂勝

始祖牛名号	茂金波	栄光	第6藤良	第38の1岩田	城崎	奥城土井
-------	-----	----	------	---------	----	------

※遺伝子保有確率	3.570%	8.427%	0.717%	0.000%	0.740%	1.037%
----------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

※特定の系統の始祖牛の遺伝子を保有する確率

★兄弟等の枝肉成績

(格付,BMSNo.,ロース,枝重,父牛,性別)

異父兄弟: A5,12,78,574,若百合,去勢

兄弟: A5,11,77,545.5,美津照重,去勢

異父兄弟: A5,11,75,609,若百合,去勢 他

直接検定成績

検定期間 R3.4.8 ~ R3.7.29

検定結果	DG					365日齢補正体重	TDN余剰資料摂取量	粗飼料摂取率	終了時得点
	1.41kg/日					507.2kg	47kg	56%	84.7
終了時	美点	均称、前軀、尻幅							
	欠点	過大、肘後、毛質、肋張							

母「いつみさざなみ」は、父に「勝忠平」、母の父に「安茂勝」をもち、「若百合」を交配した息牛の枝肉成績はA-5、枝肉重量574kg、ロース芯面積78cm²、BMSNo.12などを示したほか、母のきょうだいに「美津照重」をもち、さらにはその母である「いつみ」につながる母系で、高い産肉能力が期待できる繁殖雌牛です。この「いつみさざなみ」に生産現場で、特に肉質に優れた優良種雄牛としての評価を得て、数多くの産子が枝肉共励会等で優秀な成績を収めている「美津照重」を交配し、「いつみ」の両蔓として生産したのが「美津忠重」です。このような血統的背景をもつ「美津忠重」は、直接検定中の1日当たりの平均増体量が1.41kg/日と良好な増体を示したほか、均称や前軀、尻幅に優れた特長をもち、直接検定終了時の審査得点が84.7点と高得点であることから優れた体型であることが窺えます。これらのことから、産肉能力の改良のみならず繁殖雌牛の改良への貢献が期待できる候補種雄牛です。

母系図【】内は父

